

# 第9分科会

## 記録の共有と活用の仕組み作り

記録の方法を工夫したり、記録を活用するための  
仕組み作りについて一緒に考える

|           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| ディレクター名   | 浅野 教子 (みどり幼稚園)                        |
| 司会者       | 松井 純子 (笠松幼稚園)                         |
| 運営委員名     | 小林 直樹 (富士中央幼稚園)                       |
| 話題提供園名    | 浅野 亜衣 (岐阜聖徳学園大学附属幼稚園)<br>安田 奈津美 ( " ) |
| 助言者名      | 今村 光章 (岐阜大学教育学部 教授)                   |
| 分科会担当責任者名 | 小上 朋美                                 |
| 会場        | 富山電気ビル                                |
| 参加人数      | 76名                                   |

### 呼びかけ

記録の工夫や方法と、記録の活用・仕組み作りについて考える

### 研究の手がかり

幼児理解や保育の改善に生かすための記録の工夫について考える  
様々な記録の特徴を理解し、どんな方法があるのか、また仕組み作りについて  
考える

## 話題提供 岐阜県聖徳学園大学附属幼稚園

自園では、保育の記録として「保育年表」と「インスタ的記録」を利用してきた。

### <保育年表の課題>

時間を要するため負担となった。保育のポイントがわかりづらい。

他の保育者が理解しづらい。

### <インスタ的保育記録の効果・課題>

負担が減り、クラスだよりも活かすことができる。

1日の保育を視覚で振り返ることができる。省察や保育計画に役立っている。

他の保育者がクラスの様子を知ることができる。

写真を撮る意味が「保育の記録」から、「幼児理解をするための記録」へと

変化するが、研修会資料としては活用しづらい。

### <SOAP記録とは？>

子どもの遊びの姿を四段階に分けて分析をする。

(S) 子どもの遊びの姿、子どもの実態、事実

(O) 保育者が読み取り、見とり、幼児理解、解釈

(A) 保育者の願い、目当て、ねらい

(P) 次の保育に向けての計画、次の手立て、援助

### <成果>

① SOAP記録をすることによって、クラスの状況や担任の思いを知ることができる。保育者間で思いを伝えあうことができる。

関連した例、援助方法、捉え方等を話し合うことができる。

一つの事例に対し、多様な見方ができる。→援助や指導方法が増えた。

② 枠がなく意見が出しやすい。

子どもを見る視点の軸、土台を見つけることができる。

遊びを見る視点の多様性に気付いた。園児の情報共有をする機会が増えた。

⇒人的環境こそが子ども達の遊びに大きく影響しているのではないか。

③ その場の様子を感じ取ることができる。

感情や熱意、その場の様子を感じ取ることができる。

その後の展開が予想できるようになった。

子どもが何を発信するのか、広い視野で観察できるようになった。

### <課題>

① 意見が限られてくる。話し合う目的を再確認する。

「保育者の読み取り (O)」「保育者の願い (A)」ではないか。

② 写真では、前続の状況やその場の雰囲気、子どもの動きが読み取りにくい。

動画で撮影してみると、その場の様子を感じることができるのではないか。

## 話題提供 岐阜県聖徳学園大学附属幼稚園

### 幼児教育の基本

幼児教育は、人間の「人格形成」の基本を培う重要なものであり、環境を通して行うものである。

#### 1、 安定した情緒の下で自己発揮できる

話や、気持ちを受けとめてくれる大人の存在が必要である。

⇒情緒は安定し、自己発揮できる。

#### 2、 遊びを通して学ぶ子ども達

子どもの自発性が前提である。

子どもは面白いことを見つけ、自覚しないまま多く学んでいく。

⇒保育者は教育の営みとして自覚し、後押しをしていく必要がある。

#### 3、 個々の課題を見つけ、関わり方も考える

保育者は、活動の中で子どもが心動されているものを捉え、よりよい環境を作っていく。

⇒子ども達はあらゆる経験を通して、自分の生きる世界に対する不思議や感動などを味わっている。

保育者はそれらを把握することが大事である。



**保育者の役割の重要性** である。

### <記録を活用した遊び込むための考察についての成果>

ビデオを見直し、検討を重ねることで子どもの姿が見えてきた。

一度で終わる研修会では、見過ごすことが多いが、ビデオを見直し職員で検討を重ねていくと新たな気づきや発見ができる。

実際の子どもの心の声や、個々の豊かな発想や表現方法、子ども達同士の育ち合う姿が見える。

疑問が手掛かりとなり、今後の保育の活力につながっていく。

多角的に子どもの姿を捉え、援助方法・遊びの見方が広がり、保育者同士の心のつながりも見えてきた。

## 質疑応答

Q：石原（愛知県）：ある程度の職員の人数がいないと、動画を長時間撮るのは難しいのではないかと？

A：岐阜県聖徳学園大学附属幼稚園：ある程度は必要であるが、撮影している保育者以外の職員が、主で子どもを見て臨機応変に対応している。

## グループ協議の発表

Jグループ：

- ・子どもたちが主体的に遊べていて、保育者がY男の気持ちを受け止め代弁して他児も聞いてあげることで共通理解ができている。
- ・子どもが遊びを提案することやなりきって遊ぶ姿を保育者が見守っているのがよい。

Kグループ：

- ・SOAP型記録が初めてで難しかったが、一人ひとりの姿を読み取ることができる。子どもの姿を細かく振り返ることができる。
- ・遊びの環境設定に驚いた。保育者の配慮ひとつで子どもたちの関わりが深まっていくことを感じた。

Eグループ：

- ・K男について、保育者が見守ることで遊びが展開していたことが勉強になり他にきっかけを作ってあげたいという意見もあった。
- ・Y男について、自分の言葉でみんなの前で発表する機会があり良いことだと思った。
- ・子供たちが主体となり、遊びこむことができていたのがよかった。

指導助言者：今村光章先生の講義

### 1. 記録の共有と活用の仕組み作り

保育年表・インスタ的保育記録・SOAP型記録+動画、この3つの保育記録が提案されていた。

#### SOAP型記録

月に1度、1事例について保育者全員で意見を出し合い、研修会資料として用いるのは幅広いものである。

- ①客観的な状況
  - ②保育者の解釈や想いや子どものみ取りといった主観的内容
  - ③次につなげる保育者の願いやねらい
  - ④次の保育に向けての具体的計画
- の4点が腑分けされているところが素晴らしい。

それぞれの記録方法にはメリット・デメリットがあるが使い分けることで素晴らしいものになる。

### 2. 保育記録と保育者としての力量の関係を考えるために

・幼児教育学と保育記録との関係

幼児教育は願う力(頭)、知る力(目)、かかわる力(手)の一連の動きがあり、その事柄を振り返る力(反省する力)が大切になってくる。これらを総合的に高めていくには保育記録が大切になってくる。

・写真や動画の記録の特徴

写真や動画の記録は、客観性・再現性がある、情報を共有できる、個性化・多様化を生むという利点がある。しかし、狭量化、ローテクの「保育の再現力」の劣化が懸念される、労力コストなどの欠点もある。

### 3. SOAP型記録のメリット

- ①子どもの姿の主観的考察、客観的事実
  - ②読み取り
  - ③願い
  - ④次の保育が腑分けされている点が素晴らしい。
- ②園内研修会でも園の垣根を越えても使える。

保育記録は、保育者としての力量を向上させるためのツールである。